

Ⅱ歴代 32:8 『敵には人の力しかないが、我々には我々の神、主がいて助けとなり、我々のために戦ってくださる。』民はユダの王ヒゼキヤの言葉に力づけられた。【新共同訳】

2月3日、昨日は日本では節分でした。節分とは、もともとは季節を分けるという意味なのだそうです。ですから節分とは、春の訪れを告げ知らせる行事ということになりますね。子供の頃は年齢の数だけ豆を食べる、ということを楽しんでやっていたように思いますが、現在の自分の年齢の数だけ豆を食べたらお腹をこわしてしまいそうです(笑)

ところで、なぜ節分に豆まきをするのでしょうか？それは豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈るという意味があるからなのだそうです。確かに嫌なことや悲しいことはなるべく避けて生きたいものですが、現実はなかなかそうはいきません。でも私たちはそれらの苦難に打ち負かされることはないのです、主が助けとなり、戦ってくださるのですから。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2018年2月4日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

このように、いつまでも
存続するものは、信仰と
希望と愛と、この三つで
ある。このうちで最も大
いなるものは、愛である。
1コリント13:13

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

